



2023年10月13日

各位

会社名 株式会社ローソン
代表者名 代表取締役 社長 竹増 貞信
(コード: 2651 東証プライム)
問合せ先 執行役員 管理本部長 高西 朋貴
(TEL. 03-5435-2773)

第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正
並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

2023年5月25日に公表いたしました2024年2月期第2四半期(累計)連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたこと、及び2024年2月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

また、2023年8月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(2023年3月1日~2023年8月31日)

	営業収益	事業利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
前回発表予想(A)	百万円 530,000	百万円 34,500	百万円 17,500	円 銭 174.86
今回実績(B)	545,492	53,069	32,403	323.78
増減額(B-A)	15,492	18,569	14,903	
増減率(%)	2.9	53.8	85.2	
(ご参考)前期実績 (2023年2月期第2四半期)	490,936	36,409	20,467	204.52

2. 通期連結業績予想の修正(2023年3月1日～2024年2月29日)

	営業収益	事業利益	税引前利益	親会社の所 有者に帰属 する当期利益	基本的1株 当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,060,000	百万円 64,000	百万円 —	百万円 29,000	円 銭 289.77
今回修正予想 (B)	1,080,000	85,000	70,500	47,000	469.63
増減額 (B - A)	20,000	21,000	—	18,000	
増減率 (%)	1.9	32.8	—	62.1	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	1,000,385	64,311	47,134	29,708	296.86

3. 差異及び修正の理由

2023年度上期について、国内コンビニエンスストア事業のローソン単体の売上が堅調に推移した一方、電気代負担が当初の予想を下回りました。加えて、海外事業・エンタテインメント関連事業の好調を主要因として前回公表計画を上回りました。2023年度下期についても、ローソン単体における電気代負担が引き続き当初の予想を下回る見通しであることから、通期連結業績予想を修正いたします。

4. 剰余金の配当 (中間配当) 及び配当予想

(1) 剰余金の配当(中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月25日公表)	前期実績 (2023年2月期中間)
基準日	2023年8月31日	同左	2022年8月31日
1株当たり配当金	117円50銭	100円00銭	75円00銭
配当金総額	11,759百万円	—	7,505百万円
効力発生日	2023年11月10日	—	2022年11月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	100円00銭	100円00銭	200円00銭
今回修正予想	—	117円50銭	235円00銭
当期実績	117円50銭	—	—
前期実績 (2023年2月期)	75円00銭	75円00銭	150円00銭

5. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正の理由

当社は、重要な経営指標として、ROE（親会社所有者帰属持分当期利益率）及びEPS（基本的1株当たり当期利益）を掲げ、事業活動に取り組んでおります。また、当社グループの持続的な成長の過程において、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつも、当期は1株当たり年間200円を下限とした上で、連結配当性向50%を目標として配当金を支払うことを基本方針としております。

上記方針に基づき、2024年2月期通期業績予想の修正を踏まえ、中間配当につきましては、前回予想から1株当たり17円50銭増配の117円50銭とし、期末配当につきましても1株当たり17円50銭増配の117円50銭に修正いたします。これにより中間配当を含めた1株当たり年間配当金は235円となる見込みです。

（注）上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上